

写真しながら生きる

湘南に住んで変わったこと、気づいたこと。

講師 小澤忠恭氏



開催日 令和5年（2023年）2月26日（日）

会場 平塚市中央公民館 4階 小ホール（入場無料・申込不要）

時間 13:30～15:30（13:00開場）

講演の概要

15年前、長く住んだ東京を離れて、湘南大磯に移り住みました。東京では考えられなかった、海や山、自然に囲まれた生活。庭はそう広くはないが、作物を作ったり、夕飯を外で食べたり。その庭にはいつの間にか野生の野良猫が住み着いて、この全く人に懐かず、自立して暮らす猫にはいろんなことを学びました。東京にいた頃は、経済と自分の欲でいっぱいだったのが、そういったことを離れて、無欲な野生の生き物のように自然に暮らすことを学びました。そして、自分の写真作品もコマーシャルなものから、もっと根元的なものに変わっていったと思います。その辺のことを今回はお話しします。

それから全国の日本人にとっての心の重心というべき場所をめぐり「日本の原景」シリーズと称して写真にするようになりましたが、大磯では「私版大磯百景」と称して日々出会う絶景を撮り続けました。「日本の原景」は2018年に東京銀座で大きな写真展をしました。「私版大磯百景」は毎年、大磯駅近くの「ギャラリーさざれ石」で写真展をしています。

湘南に来てから、写真以外の創作にも目を向けるようになり、その色々な分野から刺激を受けて、また写真に生かすようになりました。中でも北斎や雪舟、西行や遊行上人、松尾芭蕉について思ったことを、それを写真にどう生かしているかも、今回お話しします。

また、写真を撮っている方、これから写真を始めようという方のために、何かお話しできればと思っています。



小澤忠恭（おざわ ちゅうきょう）

1951年 岐阜県 郡上八幡生まれ。日大芸術学部を中退後、写真家篠山紀信氏に師事。

30歳で写真家デビューして後は、アイドル、女優写真、料理や旅の写真、雑誌、コマーシャルの世界で活躍し、湘南大磯に移ってからは、「日本の原景」シリーズや「私版大磯百景」などで精力的に作品を発表している。

問い合わせ：平塚市教育委員会 社会教育課
0463-35-8123

この講演会は地域文化の向上、市域社会の活性化の為に一般市民を対象として開催するものです。どなたでもご自由に参加出来ます。 ※ご来場につきましては公共交通機関のご利用をお願いします。